

宮古市地域公共交通利便増進実施計画(概要)

- 田老地区を運行する広域バス路線ネットワークについて、**利用状況に応じた重複区間の分割・集約**と**新たな乗継拠点（道の駅）での地域バス（コミュニティバス）との接続強化**により、運行の効率化と利便性向上を図る。（事業①）
- 公共交通空白地において、**地域主体の自家用有償旅客運送の新規導入**と**地域間幹線系統との接続**により利便性向上を図る。（事業②）

事業の内容

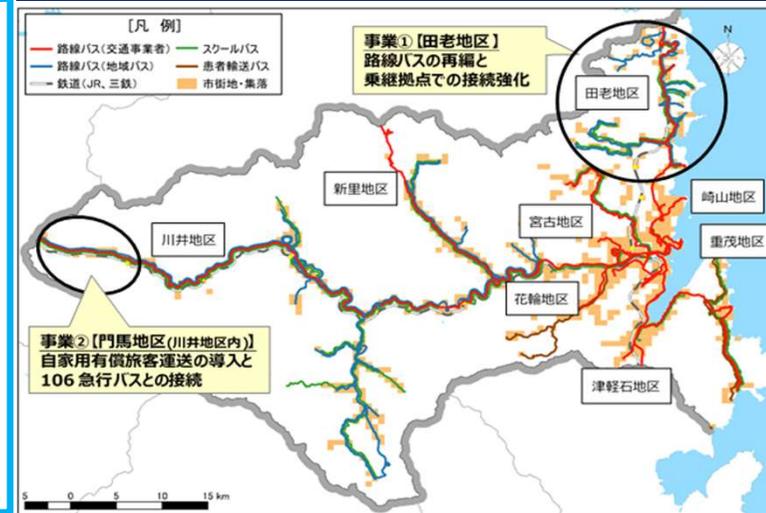
事業①（田老地区）

- ・ 岩泉町と接続する長大路線の小本線について、区間により利用状況に大きな差異があるため、「道の駅たろう」を起点に路線を分割し、利用状況に応じた便数の設定により効率化を図る。
- ・ 「宮古駅前～三王三丁目」の区間については、3路線（田老線2路線及び小本線）が並行しており非効率な運行となっていたことから、路線を田老線2路線に集約し効率化を図る。
- ・ 「道の駅たろう」を乗継拠点として設定し、再編する路線バスと市が運営するコミュニティバス（田老地域バス）との接続を強化する。

事業②（門馬地区）

- ・ 公共交通空白地域における無償による共助送迎の実証を踏まえ、地域住民が運行主体となる自家用有償旅客運送（門馬地域共助型交通）を新規導入し、持続的な地域内交通の構築を図る。
- ・ 「黒沢バス停」を乗継拠点として設定し、地域内交通と106急行バス（幹線）を接続させる。

事業を実施する地域



事業の効果

事業①（田老地区）

- ・ 路線再編により運行の効率性が向上することで、持続的な運行を確保できる。
- ・ 新たな乗継拠点を設定することで、路線バスと地域バスの乗継ぎが便利になり、田老地区内と宮古市中心部の間の交通の利便性が向上する。

事業②（門馬地区）

- ・ 新たに自家用有償旅客運送を導入することで地域内の持続的な移動手段を確保できる。
- ・ 乗継拠点で106急行バスに接続することで、門馬地区内と宮古市中心部の移動の利便性が向上する。

事業①田老地区再編



事業②門馬地区再編



- ・ 作成自治体 宮古市
- ・ 事業実施区域 宮古市全域
- ・ 事業実施予定期間 R6年3月～R12年3月